

広報

おね

NO. 479

平成10年7月10日



大好評！ 千年の森コンサート



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社（毎月10日発行）

人口の動き

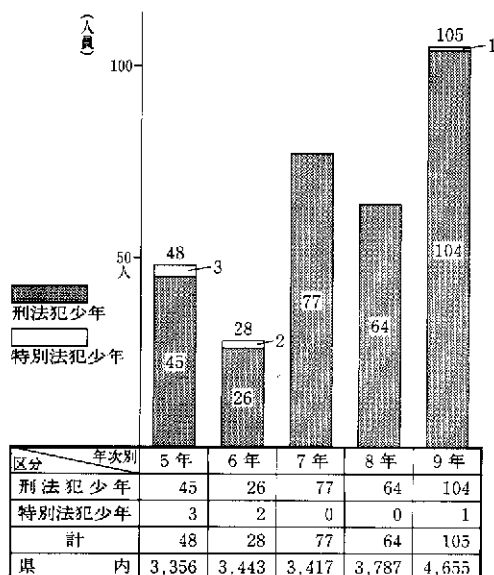
— 7月1日現在 —

男	4,188 (+3)
女	4,255 (-9)
計	8,443 (-6)
世帯数	2,257 (-2)
() は前月比較	



町社会を明るくする運動実行委員会の代表(左)から千手小学校長にPR用品が手渡されました(7/1)

非行少年の年次別推移(図1)



平成9年非行少年の罪種別補導状況(十日町警察署管内・単位:人()は女子)(表1)

区 分		総 数	学 生 ・ 生 徒				小 計	有 職	無 職
			小学生	中学生	高校生	その他各種学校			
刑法犯少年	窃 盗	94(53)	9(4)	13()	64(47)	1(1)	87(52)	7(1)	
	恐 喝	3()			2()		2()		1()
	暴 行 傷 害	3()	1()		1()		2()	1()	
	その他刑法犯	4()		1()	2()		3()		1()
小	計	104(53)	10(4)	14()	69(47)	1(1)	94(52)	8(1)	2()
特別刑法犯少年小計		1()						1()	
総 数		105(53)	10(4)	14()	69(47)	1(1)	94(52)	9(1)	2()

深刻な少年非行

全国における平成八年の刑法犯認知件数は約二百四十七万件で、昭和五十年以降はほぼ一貫して増加しています。特に、少年非行については、検挙人員の約四十九パーセントを十四〜十九歳の子供たちが占め、また、そのうちの約六十パーセントが十六歳までの低年齢層の子供たちという深刻な状況です。非行の内容では、万引き、オートバイ盗、自転車盗がほとん

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力をあわせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。第48回を迎える今年は、「地域住民の理解と協力により、犯罪・非行を防止し罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える」を重点目標として運動を展開していきます。

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です



六月二十三日と二十六日の両日、第三回町議会定例会が開催されました。

二十三日は、八人による町政に対する一般質問があったあと、平成九年度川西町一般会計補正予算(専決第一号)ほか四件の専決処分を承認。次に、「農業所得標準における中山間地域への特別税制措置に関する請願」ほか一件の請願を採択しました。

続いて、議会運営委員と議会広報特別委員の辞任が受理されました。

二十六日は、議会運営委員と議会広報特別委員の後任人事が行われ、議会運営委員に金子澄男さんを、議会広報特別委員に小林正夫さんを選任しました。

そのあと議会運営委員会が開かれ、議会運営委員長に北村公男さんが、副委員長に金子澄男さんがそれぞれ選ばれました。

次に、川西町乳児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例ほか四件の条例一部改正を原案

とです。

県内の少年補導の状況

県内の平成九年における非行少年の補導総数は四千六百五十五人で、前年に比べ八百六十八人、率にして二十二・九パーセント増加しました。増加を男女別で見ると、男子が三百九十八人、女子が四百七十八人増えています。

総数を年齢的に見てみると、中学生が千四百四十四人、全体の三十一パーセント、高校生が二千百四十四人、率にして四十六パーセントで、全体の七十七パーセントを中学・高校生が占め、依然として非行の中心となっています。

管内の少年補導の状況

十日町警察署管内における、この五年間の推移（図一）を見てみると、平成九年の補導総数は百五十五人で、八年に比べ四十一人、六十四パーセントと大幅な増加となりました。非行の中心は万引きで、九年においては窃盗九十四人のうち、七十人、総数から見ると約六十七パーセントを占めています。

また、非行少年の女子の占める割合は、五十・五パーセントで、県下の平均（三十二・九パーセント）と比較すると、他署管内に比べ高率というのが特徴であるといえます。

町の犯罪情勢や少年非行の実態

小黒川西駐在所長

まず犯罪は、ここ数年平穏に推移してきました。しかし、最近殺人未遂などの重大犯罪の発生があり、憂慮すべき点や、いちばん身近な犯罪である自転車などの乗り物盗の発生が後を絶たない状況です。

これら被害に遭わないためにも、玄関のカギや乗り物のカギはこまめに掛けるようにお願いします。

次に少年非行について、町内の子供が町内で悪い事はしません。私の耳に入らないだけかもしれませんが、表面ではほとんど補導したケースはありません。

しかしながら、一歩川西町から十日町などといった他の市町村に出ると、解放感からなのではないか、悪いことをして補導されている事実が何回かあります。その中でいちばん多いのが、やはり万引きです。

特徴としては、中学生・高校生がやはり主流で、性別では時代を反映してでしょうか、女子も男子に負けず劣らずで推移しています。

また、月別では四月・七月・八月・十二月が、曜日では土曜・日曜が、時間では十六時から十九時ころまでが多くなっており、人の

動きが活発なところとか、長期の休みのころに多く発生しているといったのが実態です。

万引きされる品物の主なものとしてはCD、ビデオ類、口紅などの化粧品が主流で、以下は洋服、食品、雑誌などとなっています。

補導した子供たちから事情を聴取すると、十人のうち七・八人は、驚いたことにゲーム感覚で犯罪を犯しており、さらに、反省の色は非常に希薄であるというのが実態のようです。

ですから、地域や学校、特に家庭で積極的に話し合いを行ない、何が悪い事なのか、何が悪い事なのかを見極める力をつけてやってほしいと思っていますし、私どもの方でもその場その場で、臨機応変に対応していこうと思っています。

昨年七月四日、総合センターで開催された『社会を明るくする運動公開ケース研究会』に出席させてもらいました。そのときの議題にもなっていた『少年非行の防止』については、いろいろな意見も出ていましたが、やはり、幼少時代における親子のコミュニケーションと良きサポーターやアドバイスが大事であるという意見が多く聞かれましたし、基本中の基本は、家庭円満が何よりということをつくづく感じたのを思い出しました。

周りの支援が不可欠

子供が非行に走る背景には、家庭環境や交友関係などの多くの要因が複雑に絡み合っています。非行防止にはまず、こうした問題の一つひとつを解決し、非行を誘発しないような社会環境をつくることです。

また、非行に陥った子供たちが更生して円滑に社会復帰できるためには、本人の強い意志はもちろん、家庭や職場、学校など周りの人たちの支援が欠かせません。

非行や犯罪は、地域社会の中で生まれます。そして、罪を犯した人が更生して戻ってくるのもまた、地域社会です。更生した人を色メガネで見たり仲間はずれにしたりすることは、再び犯罪や非行を呼び起こすきっかけにつながります。

失敗はだれにでもあります。大切なのは、同じ過ちを繰り返さないことです。こうした積み重ねが犯罪のない、明るい社会を築くための第一歩になります。

呼び掛けを実施

毎年七月は、『社会を明るくする運動』強調月間です。町でも、「地域住民の理解と協力により、犯罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える」を重点目標に、町内や各小・中学校などの施設を回るなどして、この運動に対する呼び掛けを実施しています。

青少年の非行問題に取り組む全国強調月間

七月は「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」。夏休みに入るこの時期は、解放感から、子供たちが非行に走りやすくなる傾向があります。特に最近では、ふだんおとなしい子供がいきなり非行に走るケースも少なくありません。非行のサインを見逃さないよう、家庭で気をつけることが大事です。

非行のサインを見逃さないで

子供たちの非行など問題行動の防止は、家庭や学校だけでなく、地域や社会全体が取り組まなければならない問題です。行政では、各関連機関が相互に連携して、家庭や学校、地域社会での非行防止活動を支援しています。

どおり可決。続いて、平成十年度川西町一般会計補正予算（第一号）ほか五つの特別会計補正予算と一つの事業会計補正予算を原案どおり可決しました。

また、「農業所得標準における中山間地域への特別税制措置に関する意見書」ほか四件の意見書を原案どおり可決しました。

町では昨年度から、「環境に配慮したまち」、「災害や豪雪に強いまち」、「高齢者や障害者にやさしいまち」など望ましい“おおむね20年後の町の将来構想”を明らかにするための計画である、「都市計画マスタープラン」の策定作業を進めています。

この「都市計画マスタープラン」を策定するためには、多くの方々のご意見や身近なご提案が盛り込まれなければなりません。

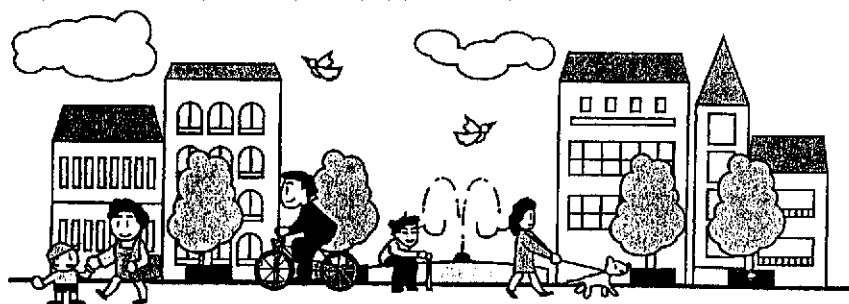
そのために「都市計画マスタープラン」のご理解をいただきたいと考え、今月号の広報紙からこの「まちづくりニュース」で今年度の取り組みの様子や、経過などを掲載いたします。

◆ 都市計画マスタープランとは…

- 平成4年6月に都市計画法が改正され、「市町村は都市計画に関する基本方針を定めるものとする」と法律で規定されました。この基本的な方針が「都市計画マスタープラン」です。
- 町全体のまちづくりの将来像を考える「全体構想」と、地域ごとのまちづくりの将来像を考える「地域別構想」を策定します。
- 20年後のまちを考え、必要なルールづくりや整備事業の方針を示します。

◆ 地域情報の聞き取りのお知らせ

昨年度のアンケート調査に引き続き、住民意向は握の一環として、みなさんから地域情報の聞き取りを各地域ごとに行います。詳しい内容については、次号で掲載する予定ですので、ご協力をお願いいたします。



お問い合わせやご意見は…

建設課 都市計画係

☎68-3111(内線322)

大人社会の見直しが必要

—中教審「幼児期からの心の教育」中間報告—

子供たちは大丈夫？ ナイフ事件やいじめ、援助交際、薬物乱用など、子供たちの将来を心配せざるにいられない事件が目立ちます。次代を担う子供たちが心豊かな人間に成長してほしい。それは家族だけでなく、学校、地域、社会全体の願いです。子供たちの「心の教育」の重要さが叫ばれているいま、わたしたちは、子供たちに何を、どう伝えていくべきなのでしょう。

子供たちにつつまれるさまざまな事件が、深刻な社会問題になっています。その背景には心の問題が見え隠れしており、「心の教育」の在り方が問われています。

この心の教育について、文部省の中央教育審議会は、平成十年三月、「幼児期からの心の教育の在り方について」の中間報告をまとめました。

「新しい時代を拓く心を育てるために、次世代を育てる心を失う危機」と題したこの報告では、新しい時代を切り開いていくための「生きる力」を、子供たちが身につけることを第一としています。

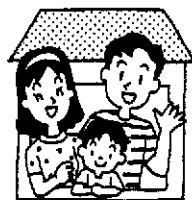
「生きる力」とは、自ら学び自ら考える力、正義感や倫理観などの豊かな人間性、健康な体力。そして、その核となるのが、豊かな

人間性、すなわち、感性や心なのです。そのような心を育てるのは、家庭や学校だけでなく、社会全体の役割です。

家庭、学校、地域社会、それぞれの役割や在り方を見直し、子供の心の教育について、何ができるかを考えなければなりません。

中間報告では、それぞれについて次のようなポイントで提案しています。

家庭



- ・家庭の在り方を問い直すよう
- ・悪いことは悪いと、しっかりとつけよう
- ・思いやりの心を育てよう

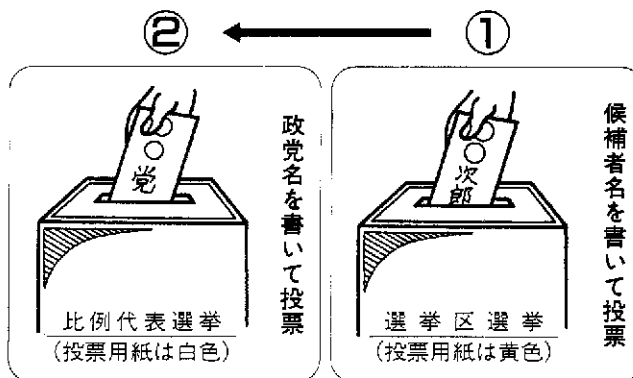
参議院議員通常選挙

選挙区選挙 — 個人に投票
比例代表選挙 — 政党に投票

投票日は
7月12日⑧

第18回参議院議員通常選挙は6月25日
に公示され、7月12日(日)が投票日とな
ります。また今回の選挙から、公職選挙
法の改正を受け、不在者投票制度の改善
や投票時間の午後8時までの延長(一部
投票所を除く)が実施されます。

投票の順序



この選挙は、新潟県選出議員選挙と比例代表選出議員
選挙があり、2回投票することになります。

投票資格

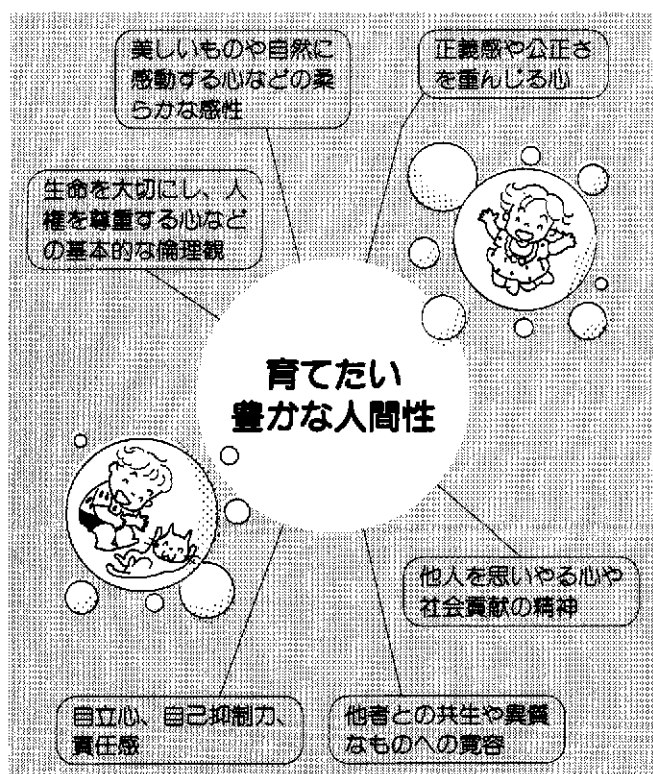
- ① 川西町の選挙人名簿に登録されている
人。7月12日現在で満20歳以上の日本
国民。
- ② 平成10年3月24日以前から川西町に住
民登録をしている人。3月25日以降の
転入者は前住所地の市町村で投票する
ことになります。

投票時間を繰り上げる投票所

- ▶ 午後7時まで
- ・ 川西町冬期孤立集落維持管理センター (小脇)
- ・ 高倉集落センター

投票時間が延長されます

今回の選挙から投票時間が午後8時まで延長に
なります。ただし、左の投票所では投票時間の繰
り上げがあります。入場券を確認のうえ、間違い
なく投票してください。



- ・ 子供の個性を大切にし、未来への夢を持たせよう
 - ・ 家庭で守るべきルールをつくらう
 - ・ 遊びの重要性を再認識し、子供の生活に時間とゆとりを持たせよう
 - ・ 異年齢集団で鍛錬する機会に積極的に参加させよう
 - ・ 文化と伝統について理解を深め、未来を開く心を育てよう
 - ・ 道徳教育を見直そう
 - ・ カウンセリングを充実しよう
- 学 校**
- ・ 不登校にはゆとりを持って対応しよう
 - ・ 問題行動に毅然として対応しよう
 - ・ 保育所の役割を見直そう
 - ・ ゆとりある学校生活で子供たちの自己実現を図ろう
- 地 域**
- ・ 地域で子育てを支援しよう
 - ・ 豊かで多彩な体験活動の機会を与えよう
 - ・ 子供の心に影響を与える有害情報の問題に取り組もう

高校生を対象に交通指導

高校生を対象とした原付・二輪車の違法改造や整備不良車への指導、走行マナーなどの一斉指導が郡市内4高校で行なわれ、川西高校でも6月15日、同校駐車場周辺で実施されました。この指導は、郡市交通対策協議会の指導で実施されているもので、安全協会二輪車部会員、十日町警察署員、町交通指導員や高校教諭ら10人あまりが参加。バイク通学生の交通指導、ブレーキランプやチェーンのゆるみなどの点検を実施。ヘルメットのかぶり方の指導を受ける場面が見受けられました。



走行などについて指導を受ける川西高校のバイク通学者

日ごろの練習成果を競う

6月14日、町総合体育館駐車場で、町消防団（清水善三団長・団員362人）の春季消防演習・ポンプ操法競技会が実施されました。小型ポンプ操法競技会では、6つの分団から選ばれた6チームによって操法が競われ、坪山チームが優勝。坪山チームは、7月19日、十日町市で開催される十日町地区支会に出場します。また競技会終了後、団員の人員・姿勢・服装の点検があり、号令一つで機敏に動いていました。



優勝した坪山チームの操法の様子

信濃川水防訓練を実施

6月10日夜、妻有大橋上流の信濃川河川敷で、信濃川（十日町地域）水防訓練が実施され、郡市4消防団と河川維持管理業者、合わせて140人あまりが訓練に参加。町消防団も第1、2分団の中から31人が参加し、木流し工法と改良土のう積み工法に取り組みました。参加者は、本番さながらの様子で訓練をしていました。こうした訓練が、いざというときに役に立つのでは……。

土のう積み工法に取り組み町消防団員

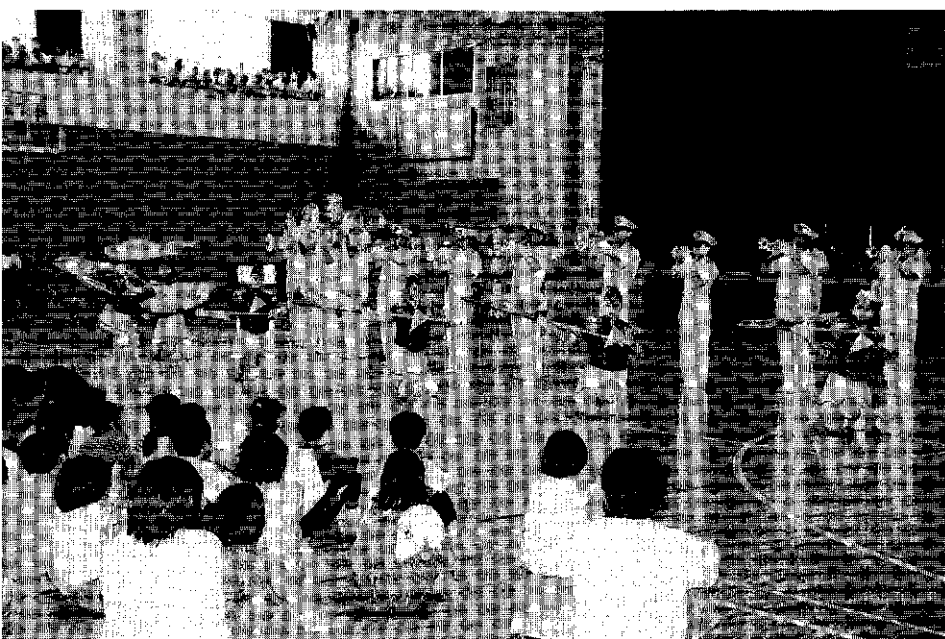


県警音楽隊を招き「小・中学生防犯教室」を開催

6月24日、川西中学校体育館で、「小・中学生防犯教室」が開かれ、小・中学生と一般およそ800人が参加しました。この催しは、町防犯協会（会長・南雲町長）が、夏休みを1か月後にひかえて、小・中学生の交通マナーや防犯意識の高揚を図ろうと、十日町警察署員や県警音楽隊を招請して実施されたもの。

十日町警察署では、2年前から管内が「地域安全パイロット地区」に指定されていることから、「こういう取り組みが管内に広がり防犯意識の啓発につながれば」と期待しています。

参加者は、十日町警察署員による防犯講話を聞き、県警音楽隊による演奏「もののけ姫のテーマ」ほか5曲と、カラガード隊（県警音楽隊の女性で構成するバトンチーム）によるドリル演奏を楽しみました。



目の前で繰り広げられるパフォーマンスを熱心に見入っていました



一戦一戦が熱戦を繰り広げました

12チームが熱戦を展開

6月17日～18日の2日間、町総合体育館と川西中学校体育館を会場に、第29回フレッシュバレーボール大会が開催され、12チームが熱戦を展開。結果は、次のとおりです。

優勝	あいるとんSSC	2位	オールマイティーズ
3位	タケチャンズB	3位	サンライズFC

クリーンな町を維持しよう

六月十九日、川西町地区のたばこ販売店が、総合センターや商工会館、役場周辺を中心に清掃美化活動を実施しました。

これは、十日町たばこ販売協同組合川西地区（清水善三代表）が、昨年からの活動の一つとして実施しているもので、喫煙環境の悪化に積極的に対応し、クリーンな町を維持しようと進めているものです。当日、たばこ販売店の方々は、たばこの吸い殻のみならず、ジュースの空き缶、その他のごみの清掃活動に精を出していました。



美化活動に精を出すたばこ販売店の方々

越後妻有花の道

花と緑のフェスティバル'98

◎日時 8月1日(土) 午後3時～9時
◎会場 十日町市昭和町通り

十日町地域ニューにいがた里創プラン「越後妻有アートネットワーク」が今年度から事業としてスタートしました。
この構想は、交流の道、自然体感型ふれあい文化施設、大地の芸術祭、越後妻有8万人のステキ発見の4つの柱からなっています。

- 花の教室（切り花のアレンジメント）
- 造花のアレンジメントの展示・販売
- 花の音楽会（オカリナ演奏）
- フリーマーケット
- 抽選会 など
- 募集します

この中で、平成10年度から花の道がスタートしました。これは、現在十日町地域広域6市町村が取り組んでいる「花いっぱい運動」と連動させ、各市町村を結ぶ幹線道路沿いなどを花で飾ろうとするものです。

イベント内容

■花鉢、植木、盆栽などの出店・販売
（☎57-3111・内線157・158）又は、花の道実行委員会（十日町地域広域事務組合企画振興課（☎57-2285）へ。

■フリーマーケット（出店料無料）
■花、盆栽愛好者の出展
※申し込みは、7月24日(金)まで。
申し込み・問い合わせ
十日町市市民生活課生活環境係
（☎57-3111・内線157・158）

寝たきりにならないための健康づくり講演会

★日時 7月14日(火) 午後1時30分から

★会場 総合センター大ホール

★演題 『ウォーキングと水中浮力を活用した健康づくりの秘訣』

★講師 明治学院大学名誉教授 高橋 賢一先生

※問い合わせ先 役場福祉課

家庭看護教室」案内

■日時 7月25日(土)

午後1時30分～4時30分
場所 クロス10

■内容

・家庭における健康管理と看護
・寝たきりにならないように
・寝たきりになったら

■講師 日本赤十字新潟県支部

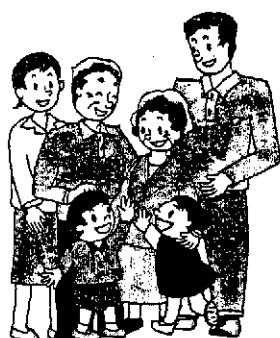
■参加費 無料

■定員 30人

■服装 実技がありますので、女性にはズボン着用のこと。

■申し込み方法・申し込み先

7月15日までに電話又はファックスで、魚沼ブロック電信電話ユザ協会へ（☎0120-1123-849・FAX 72-2907）



町では、平成十一年四月一日採用の一般事務職員（初級職）若干名を次により募集します。

【受験資格】

昭和五十二年四月二日～五十六年四月一日生まれの人

【試験の日時と場所】

1 一次試験（県人事事務組合が
する試験）

試験日 九月二十日（日）

受付時間 午前九時～九時四十
分

試験場 長岡市南町二
長岡市立南中学校

【試験の方法】

高校卒業程度の内容で、地方公務員として必要な一般的知識と知能について、択一式の筆記試験と作文試験及び事務適正検査を行います。

携行品 受験票、HB鉛筆、消し
ゴムなど。ボールペンや
万年筆使用は無効

合格発表 十月中旬

2 二次試験

試験日 十一月上旬
（一次試験合格者に
別途通知）

試験場 川西町地域活性化セ
ンター

方法 面接試験

【採用日】

平成十一年四月一日

【受験手続き】

申込書の請求先 役場総務課
行政係

【申込書の提出】

受験申込書に所要事項を記入押
印。写真（縦四cm×横三cm無帽
・正面上半身）一枚をはり、ほ
かに二枚を添えて役場行政係へ。

【申込書の受付期間】

七月三十一日まで（郵送の場合、
消印は七月三十一日まで有効）

【問い合わせ先】

役場総務課行政係

☎六八―二二―一

十日町地域広域事務組合 職員募集

（採用試験実施要綱）

消防士 若干名 採用の予定
申込受付 7月16日～8月7日まで

（郵送消印は8月7日まで）

【受験資格】

○高等学校卒業業者で、昭和四十八
年四月二日以降に生まれた男子
（平成十一年四月一日現在二十
五歳以下の人）

○身長一六〇センチ以上、胸囲はおお
むね身長二分の一以上、体重
は五〇キログラム以上、視力は両眼の場
合〇・八以上、一眼の場合それ
ぞれ〇・五以上（矯正視力可）
で色覚正常、そのほか身体強健
な人

○十日町地域広域事務組合管内

（十日町市、川西町、津南町、
中里村、松代町、松之山町）に
居住可能な人

【試験の日及び方法】

○一次試験 八月二十三日（日）

（場所及び時間は受験者に別途
通知）、試験は地方公務員とし
て必要な一般知識・教養、適正

平成十一年四月一日採用予定

検査、作文と体力診断テストを
を行います。

○二次試験 九月上旬（場所及び
時刻は一次試験合格者に別途通
知）、口述試験と身体検査を行
います。

【受験手続き】

十日町地域消防本部や、消防署
西分署などに備え付けの受験申込
書に、最終卒業学校の成績証明書
を添付し、十日町地域消防本部総
務課（☎五七―一五五五）に提出
してください。

【合格発表】

一次、二次試験とも受験者に合
否を通知します。

冷房病に気をつけて

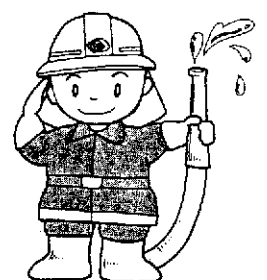
夏場、冷房の効き過ぎた室内で
体調を崩してしまう人が多いよう
です。夏風邪をひいたり、おなか
をこわしたりしてしまう人も多い
ようです。冷房病は、外気と冷房
した室内の温度差が人体にストレ
スをもたらして起こります。

予防には、室外と室内の温度差
をできるだけ小さくすることが大

切です。また、冷気は床に近いと
ころに集まりやすいので、厚めの
靴下をはいたり、ひざかけを利用
したりして、下半身を冷さない工
夫も大切。冷風に直接当たること
は絶対避けるべきです。

冷え症になりやすい人は、体を
冷す食べ物も禁物。飲物もアイス
でなくホットで飲むようにしましょう。
また、入浴はシャワーで済
ませずに、ぬるめのお湯にゆっく

りつかって体を温め、血行を促す
ことも予防につながります。
暑がりの人も少し我慢して、部
屋を冷しすぎない心配りをし



広報発刊こぼれ話(上)

岩瀬 金子 幸 作

公民館報が広報に

「広報かわにし」の第一号を発行したのは川西町の誕生から二年後の、昭和三十三年の今月十五日だった。合併と同時に公民館報を出す予定になっていたが、教育委員会の事務局が手薄だったのに加え、当初の計画には無かった新生活運動や妻有郷学術総会調査が町の全域で実施される事態になり、館報の編さんにまで手が回らなかつたといえは言い訳になろうか。

三十二年に入ると、町の有識者からも「期待している」の声がかかって未発行が気になり、高橋友義教育係長と相談し、田口一男庶務係長に「町部局から広報を発刊して欲しい」と話をもちかけた。ところが、「金子、お前やつてくれ、職員の補充は何とか考えてやる」と、逆に言われて初代の編集を担当する羽目になった。

中村町長に決裁を仰いだら、「お前さん、毎月発行すると言うどもノシ、素人が町の新聞を毎月出すてガンナ難儀ダゼ、馴れるまで一月おきにしたらナジダイ」と言われ、畏み恐縮して、昭和三十三年度中は隔月十五日発行にした。

発行当時の中村町長、左は筆者(町長室で・押木秀治写)



印刷は白南風社

「館報でも広報でも、ぜひ発行して欲しい」と、毎日役場へ来てセッコウかけてくれたのは中央印刷の柳沢外勤員だった。聞けば、「広報コンクールで県一位に輝いた『公民館報たちばな』の印刷を担当した」といい、「この実績でぜひ弊社に」との願いで、当時は珍しい活版刷りの割付用紙や原稿用紙をどっさり持参してくれた。しかし、町の公民館運営審議会委員でもあった白南風社の太田長

栄社長からも「私共」と請願があり、中村町長のもとで協議した結果、町の仕事は町の業者という方針で白南風社を指名した。

当時の白南風社はまだ幼年期というか、ガリ版印刷にかけては他社の追従を許さなかったものの、オフセットの技術や設備は発展途上のように気になったが、全社をあげて印刷技術の向上にとりこんでくれた。太田社長を中心に高崎現社長夫妻らの研究と努力で号を重ねるたびにきれいな広報に仕上がりが、町の人たちも発行を心待ちにしてくださってうれしかった。

第一号によせて

中村町長が「広報かわにし」の題字を揮毫し、次の「発刊のことば」を自らよせてくださった。

このたび、川西町の実態をできるだけ細かに、しかも早く町民各位にお伝えして町の姿や在り方をよく認識していただくために広報を発刊することにした。この「かわにし」を心のかけ橋として幸福な地域社会が形成され、明るくて住みよい、豊かな町づくりができるように願っている。

馬場ト樺町議会議長から次のメッセージをいただいた。

民主政治の要諦は、国民や住民が不満を持ち、失望したりしない政治が行われることにある。そのために、本紙をとおして広く

町民の声に耳を傾け、貴重な意見を行政に反映していきたい。

高橋子平教育係長が、町の教育の決意を次のように披瀝された。

川西町の三千三百人の児童、生徒が、身心ともに明るく健康に成長する教育に全力投球したい。

須藤茂一先生が、新しい町と庁舎に次の詩をよせてくださった。

新しい町 新しい庁舎 新酒を入れるには新しい器がふさわしいように そこから新鮮な 世紀の息吹きが立ち昇る

青いふるさとの空 高く立つわれらの殿堂 銀灰色の柱はたくましく 鳶は庁舎の空に啼いて平和の円を描く

ひろいひろい海に 波浪を越えて進む 豪華な巨船にも似て われらの殿堂 ああ 夕ぐれ空に明るく灯る円い船窓から 今宵も建設の歌声が流れる

田中三郎町議会議員作詞の川西小唄を紹介したら、佐藤茂夫国鉄職員がああメロディを作曲してくださり、これに保坂国夫公民館主事が振り付けして後世に残る「川西小唄」ができあがり、いまに歌い踊り継がれている。

世間話も掲載した

第一号を発刊した年の川西町は二七六三世帯、人口一四九六〇人を数えた。この年、東部地区では山王原に一八町歩の開田が計画さ

れて軌道にのり、また、山地の集落では藁布団の万年床が姿を消すようになって蚤や蚊もいなくなり、住居や台所も改善されて生活水準が飛躍的に向上した。

チャンキおけき、わかれの一本杉、愛ちゃんはお嫁になどの歌声が流れる中で全町の融和、親睦がはかられ、町内の随所に建設の槌音がこだました。あの当時を回想できる人はまだ少なくない。

この時代に広報紙を発行する町村は数えるほどでしかなく、身近な政治や茶の間の話題等もとりあげた公民館報が読者に歓迎されていた。本紙もこの例に習い、公民館報的な町の機関紙を念頭に、町の人たちと役場のかけ橋になる広報をめざして編さんに没頭した。

仙田地区で挙家離村が目立つようになり、首都圏へ転出しても町の様子を知りたいと願う人にも本紙をお届けしたが、その数がしだいにふえ、送料の軽負担を考えて第三種郵便物の認可をうける手続きをした。酒井信四郎千手郵便局長の助言を得て、題字の下に発行者編集人の氏名等を明記し、定期刊行物にしてもらったのが四十年も前の話になる。(以下次号)

おわび

前号、昭和三十三年四月の事務分掌表に追加、出納係長増田享、星名カズ、清水光子

お知らせコーナー

救急講習会の開催

人間は、呼吸が止まってから八分間を超えて適切な処置がされないままにいますと、例外を除いてそのほとんどが生き返ることは難しくなります。この間に口や鼻から肺に空気を送りこんでやるなどの人工呼吸を施してやる必要があるのです。しかも、呼吸が止まってから人工呼吸を始めるまでの時間が短ければ短いほど効果が大きくなります。素早い人工呼吸によって一命をとりとめた例が、数多く紹介されています。

十日町地域消防本部では、次のとおり救急講習会を開催します。

■日時 7月29日(水)
午後6時～9時

十日町地域消防本部で所有している防災関係ビデオテープを貸し出します。ご家族でご覧になって、

■場所 十日町地域消防本部
3階講堂

■申し込み方法

十日町地域消防本部救急係に電話で申し込んでください。

(☎57-1555)

■申し込み締め切り 7月25日

■講習内容

心肺蘇生法・大出血時の止血法

■受付人数 先着50人

■受講料 無料

■その他 体操着など活動的な服装で参加してください。

■防災ビデオを貸し出します

十日町地域消防本部で所有している防災関係ビデオテープを貸し出します。ご家族でご覧になって、

緊急時の対応などにお役立てください。

★申し込み方法 電話で申し込み

十日町地域消防本部予防課

(☎57-1557)

消防署西分署(川西町)

(☎68-2075)

★貸し出しビデオテープ

(幼児・小学校低学年用)

・トラちゃん消防隊長

・トントン・ユウユウの火の用心

・レッゴーなかまたち

・トンクルビーのじしんようじん

・スーパーマリオの消防隊(中学生・大人用)

・うっかり家の人々

・うっかり町の屋根

・家族でガッテン

・考えよう事業所の地震対策

・5分間の重み

ほか14本

新潟アジア文化祭'98協賛

第4回十日町市・中魚沼郡

合唱フェスティバル

◎出演

張瑤(中国ウイグル自治区出身)

各市町村のコーラスグループ6団体

◎日時

7月19日(日)午後1時30分開場・2時開演

◎場所

川西中学校体育館

◎入場料

1,000円(高校生以上)



子供のための美術展'98

県立近代美術館では、次のとおり「子供のための美術展'98」目、からだで、心でみる わたしの見方、感じかたで」を開催します。

ご来館ください。

●期間 8月20日まで

●無料観覧日 7月15日・20日

●観覧料

小・中学生 100円

大学・高校生 600円

一般 800円

●問い合わせ先

県立近代美術館(☎0258-284111)へ。

施設開設のご案内

身体障害者の施設が次のように開設される予定です。詳しいことをお知らせになりたい方は、役場福祉課(☎68-3111)へ内線205)へお問い合わせください。

●施設の種別

重度身体障害者更生援護施設

●施設の目的

病気や事故などが原因で、重度の肢体不自由になった方が、

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

●設置場所

長岡市王番田町地内

●入所対象者

身体障害者手帳をお持ちの18歳以上65歳未満の方

●開設の時期

平成11年4月(予定)

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

●施設の開設の時期

平成11年4月(予定)

自衛官等募集

1 試験の種類

①航空学生、一般曹候補生、曹候補生、2等陸・海・空士

*受付期間 9月11日(金)まで

②看護学生

*受付期間 10月13日(火)まで

③防衛大学校学生、防衛医科大学校学生

*受付期間 10月14日(水)まで

④自衛隊生徒(中学3年生男子)

*受付期間 平成11年1月4日(月)まで

2 試験日

受け付け時に指定

3 応募資格

27歳未満の人(試験種目により、学歴・年齢制限あり)

*問い合わせ・申し込み

〒940-0000

長岡市千歳1-3-27

白衛隊地方連絡部長岡出張所

(☎0258-3310256)

うまい話には

くれぐれも「用心」

最近、「高金利」「有利な利殖」「元本保証」などを誘い文句にお金を集める、悪質な商法の被害が出ています。法律で認められている者（機関）以外がこれらの行為をするのは禁止されています。しかし、言葉を選んで上手に話をもちかける悪質な業者が後をたちません。そのような目先のうまい話のついで、ついお金を預けてしまい、人生が狂って台無しになってしまうことも十分考えられます。大切なお金を預けるときには、どのような相手なのか十分確かめて、有利な点だけに目を奪われることのないようにしましょう。おかしいなと思ったら、はっきり断ることが大切です。

万一、断りきれなかったりトラブルに巻き込まれたりしたときは、国または都道府県の消費者相談窓口や最寄りの警察に連絡してください。（川西駐在・68-20065、仁田駐在・68-4107、仙田駐在・69-20036）

善意

（敬称略）

町政の一助に

清水正昭（山野田） 十万円

かわい

俳壇

高崎正風選

笹の葉の大小分けて粽結う
宵闇の螢の光る道帰る
大倉 中条 石平

千本の山毛櫨燦々と風光る
株立ちの十四五本の山毛櫨若葉
霜条 星名 星光

手鏡にあふれる桜母に見せ
つやつやと蟻の光れる日曜日
元町 金子 鉄平

茄子を挽ぐ鉄の音に虫飛べり
山の径ほたる袋の咲いており
八王子市 松浦 サク

退院の心に歩む青田道
どくだみを売って一と日の湯の旅に
野口 村越 由喜

父の日の園児の画きし父の顔
薫敷きて西瓜畑の安らけし
小白倉 江口みゆき

黙々とリズムに乗りて粽結ぶ
競い合い餌に寄り来る鯉涼し
山野田 藤田ひろ志

つばめの巣ある軒下に雨宿り
雨宿りしたる頭上につばめの子
綾瀬市 野沢ますえ

青年の深夜たむろす登山駅
青年の掌を溢れたる岩清水
中野区 杜鹿 弘子

巡回のバス待つ梅雨の寒さかな
大草鞋記帳も梅雨のしめりかな
野口 野沢 寅生

松之山湧きては消ゆる夏の雲
ふるさとの山河も久し風薫る
練馬区 須藤 遊人

戸袋に巣あり子雀巣立つまで
道ゆずり色分け合うやあやめ園
野口 五十嵐トラ

初夏の花一輪さして無人駅
幼な児のひとみ集めて蟻地獄
田中町 石沢 澄代

生まれたる兄に高々と鯉識
四郎兼 平野恵次郎

思うこと口には出さず麦茶飲む
足立区 涌井ハル子

百枚をひと束に編みたばこ干す
郭公の羽する溪去り難し
高倉 齊木 和人

草藪の中抜きんでて野のアザミ
赤谷 小林 哲

夏大根ほど良き辛味食卓に
山鳩のしきりに鳴ける梅雨晴間
岩瀬 登坂伊智子

小白倉 田中 優美

父の日の眼鏡落ちそな似顔かな
寺尾 白井すみい

尻あてをしたる西瓜の太りをり
新町新田 若山 向山

石庭の巨石覆ひて顔の花
上町 高橋 願似

草刈機きらきら光る朝仕事
元町 田畑 吉治

大原の里の清流若葉中
浦和市 登坂 博史

休日救急医

7月12日 大熊内科医院（山本町）
☎ 52-7066

19日 山口医院（下条）
☎ 55-2003

上村病院（中里村）
☎ 63-2111

20日 長山医院（津南町）
☎ 66-2877

中条病院（中条）
☎ 57-3018

26日 大島医院（川原町）
☎ 52-2957

8月2日 大坪医院（四日町）
☎ 57-6100

9日 庭野医院（寿町）
☎ 52-2711

急病

脱水症の予防

急病

これから夏本番となり、暑気あたりや夏バテなど体調を崩しやすい時期になります。今回は、夏場に起こりやすい脱水症についてとりあげてみます。

脱水症は、体の中の水分（人は身体70%が水分と言われています）が不足した状態です。症状としては、発熱・尿量の減少・口の渇き・意識障害などで、放っておくと命も危険になります。子供や高齢者は、体温調節機能の働きが悪いので、暑さや直射日光に弱く、布団の掛け過ぎや室温の上昇だけでも発熱することがありますし、体内の保水力も弱いため下痢や吐が続くと水分が不足してしまいます。

脱水症は一見他の病気と区別がつかないので、おかしいなと思ったら、その日の食事や水分の量、尿量などを確認してみてください。特に高齢者は全身の反応が鈍くなっています。身体のだるさ、やる気のなさ、痲痺のような症状がある場合にも脱水を疑ってください。脱水の予防は、やはり水分をしっかり取ることで、発熱時や汗をかいた時はもちろん、普段から小まめに水分を取ることが大切です。

1日コップ5杯（1リットル）は食事以外に取りたい量です。吐き気や腹痛がある場合は果汁やヨーグルト類は避け、白湯や番茶などを少量ずつ数回に分けて飲ませてください。脱水気味の時は、スポーツ飲料も効果的です。しかし、飲み過ぎや、それだけに頼ることのないように注意しましょう。



戸籍の窓から

たかさご—ご円満に

星野 孝志 野口
滋野 直子 野口
数藤 貴光 沖立
元村 智美 十日町市
丸山 晴男 根深
庭野 典子 十日町市

上村 亮平 利昭 上野
星名 洋輝 知彦 沖立
山口 洸太 幸恵 上野
樋口 愛奈 貴大 發電所通り東
渡貫 志門 一芳 新町新田

山口 ハツ79(一男)仁田
桑原 朝二82(本人)新町新田

(6月1日)30日届け出分

うぶ声—おすこやかに

上村 ハル88(晴夫)上野
増田 ノイ90(本人)神社町
星名 ハマ98(得司)木島

表紙の写真

六月七日、二六公園ブナ林で、「千年の森コンサート」と銘打った催しが開催され、およそ千百人がギタリストのクロード・チャリさんの弾くギターや、日本で活躍する外国人アーティストの歌を心行



ギターや、歌に耳を傾ける聴衆

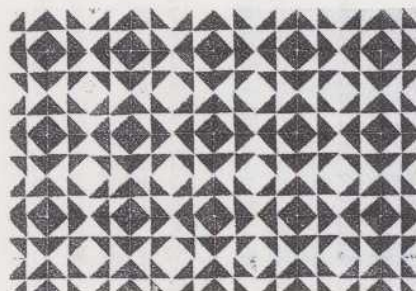
くまで楽しみました。

このコンサートは、同じブナ林を持つ川西町と松之山町が連携し、それぞれのブナ林や野外ステージを利用して、自然や音楽に対する認識を深めるとともに、地域のふれあいの拠点として情報発信していく、そんな新しい広域型の試みを取ったもの。川西町・松之山町の両実行委員会が共同でポスターやチラシを製作。共通前売り券を販売するなど、相乗効果が表れたのか、例年にない入り込み客を数える大盛況ぶりを見せました。クロードさんの軽やかでうまみのある語りに、会場からは盛んに手拍子が沸き起こり、最後は全員で坂本九さんの「上を向いて歩こう」を全員で合唱しました。

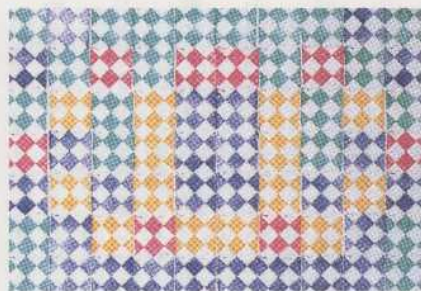
ちいさな展覧会

119

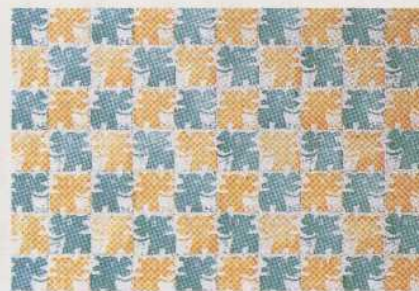
川西中学校



▲ 須藤 早百合 さん



▲ 茂野 隼人 さん



▲ 星名 文絵 さん

8月号は千手小学校です



▲ 田口 淳 さん



▲ 村越 恵 さん



▲ 小野塚 豊 さん



▲ 蔵品 恵介 さん



▲ 藤田 美久 さん

3年生のスタンプ作品です。篆刻用の石(35mm×35mm)に、彫刻刀で模様を描き、色スタンプなどで押して仕上げたものです。
連続模様あり、幾何学模様あり、ほのぼのしたものあり、奇妙なものあり、とさまざまです。文化祭には3年生の全作品を展示予定です。お楽しみに。